

平成26年4月の介護報酬改定について

4月の消費税率8%の引上げに伴い、基本単位数への上乗せという形で介護報酬改定が行われます。認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護については加算の変更はありません。

認知症対応型共同生活介護（介護予防含む）

認知症対応型共同生活介護費（Ⅰ）1ユニット 認知症対応型共同生活介護費（Ⅱ）2ユニット以上

要支援2	798→801単位/日	要支援2	785→788単位/日
要介護1	802→805単位/日	要介護1	789→792単位/日
要介護2	840→843単位/日	要介護2	827→830単位/日
要介護3	865→868単位/日	要介護3	852→855単位/日
要介護4	882→886単位/日	要介護4	869→872単位/日
要介護5	900→904単位/日	要介護5	886→890単位/日

短期利用共同生活介護費（Ⅰ）1ユニット 短期利用共同生活介護費（Ⅱ）2ユニット以上

要支援2	828→831単位/日	要支援2	815→818単位/日
要介護1	832→835単位/日	要介護1	819→822単位/日
要介護2	870→873単位/日	要介護2	857→860単位/日
要介護3	895→899単位/日	要介護3	882→886単位/日
要介護4	912→916単位/日	要介護4	899→903単位/日
要介護5	930→934単位/日	要介護5	916→920単位/日

小規模多機能型居宅介護（介護予防含む）

小規模多機能型居宅介護費

要支援1	4469→4498単位/月	要介護3	23286→23439単位/月
要支援2	7995→8047単位/月	要介護4	25597→25765単位/月
要介護1	11430→11505単位/月	要介護5	28120→28305単位/月
要介護2	16325→16432単位/月		

「全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料について」

H27年度の介護保険制度改正案や、第6期介護保険事業計画の策定に関する会議資料が厚生労働省のHPで公開され、今後の方向性が示されています。市町村が主体となり「地域包括ケア計画」による地域づくりが本格化する模様。チェックしてみてください。

Gumma CMS

群馬県地域密着型サービス連絡協議会

事務局 〒370-3521 群馬県高崎市棟高町 954-8
認定NPO法人じゃんけんぽん事業本部内

☎ 027-387-0180

Fax.027-387-0181

e-Mail renkyou@gunmaken-chiiki.net

ホームページ <http://www.gunmaken-chiiki.net>

ホームページがリニューアル!

プログラム上の脆弱性をついた不正アクセスが懸念されたため、正規のページを一時閉鎖しておりました。メンテナンス中はご覧の皆様および会員事業所様には、大変ご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

「じゃあ、また明日来ますね〜」
帰りの支度をして入居者さんに声をかける。
「気をつけてね〜」
転んだら起きて行くだよ〜

お茶目なおばあちゃんに、
今日も癒されました(^-^)/

あんじゃー
ない!

Gumma CMS “地域” で生きる!

群馬県地域密着型サービス 連絡協議会・会報

第25号・・・平成26年3月発行

会長 井上謙一



地域密着型サービス連絡協議会として現在のトピックスを下記に挙げる。

- ・ 26年度群馬県社会福祉総合センター（新前橋町13-12）に事務局機能を移転予定
- ・ 介護人材確保のための研修を連協独自の企画で第2回目終了（ウエルカム研修）
- ・ 地域で認知症の早期発見、早期介入を目的とした相談所としての発信をすること
- ・ 包括支援センターの認知症ランチとして機能すること
- ・ 小規模デイ、認知症デイ、複合型サービス、定期巡回随時対応型訪問介護・看護等との連携、合併協議会を目指すこと

27年4月からの第6次介護保険計画（地域包括ケア計画）に向けて、県内の各市町村がとりあえず動きだした。まずは情報集めからということだろう。ただ人事異動の時期であり本腰が入るのは4月を過ぎ5月の連休明けからと予想される。7月にはガイドラインが示され、関係団体も急激に対応を迫られることが予想される。

地域密着型サービスは平成18年に創設され、当初6事業であったものが定期巡回型訪問介護・看護と複合型サービスが加わり8事業、それに訪問介護と小規模デイが県指定から市町村指定に移管される予定で10事業が地域密着型サービスにならんとしている。平成30年には居宅支援事業も市町村指定、地域密着型サービスに移管される模様である。要するに医療も「病院完結型」から「地域完結型」へ、介護も「施設」から「地域」への大転換である。そこに追い打ちをかけるように認知症の推定数の増大である。認知症になっても地域で住み続けるためには、初期のころから関わる「取り巻き」が必要で、認知症サポーターの600万人目標もその表れである。

群馬県地域密着型サービス連絡協議会はグループホームと小規模多機能の連絡会であるが、今後他の地域密着型サービスとの連携もしくは合併協議会としてその役割は増大すると思われる。そのためには固定した事務局が必要であったが、会員の協力の下14年間の継続を経て、群馬県社会福祉総合センターへの入所の許可が下りることは喜ばしいことである。

また、今後深刻な課題として、人材確保と定着へ一層の努力をしていかなければならない。その一環としてこれまで2回開催したウエルカム研修は、潜在的に介護事業に踏み込みたくても諸所の事情でできなかった人たちに、扉を開け就業に至る事実を見て、大変有効な企画と考える。今年度も各地区で4回実施する計画である。今後老協、老健協とも共同開催できれば社会的に周知、啓発でき人材確保に貢献できていると思う。

ひとりで悩むより 皆（仲間）で解決!

「小規模多機能の質を高める事例検討会」開催してます!

ケアの質の向上のため、また事業所の発展を目的とした、現場レベルでの検討会です。右の写真は1月に伊勢崎で開かれた検討会の様子。廃用症候群の方の事例について、様々な切り口から活発な意見が出されました。原則として毎月第3水曜日の午後7時から開催しています。検討事例も募集中です。グループホームの方の参加も歓迎です!

小規模多機能運営部 部長・櫻場一典



小規模多機能・グループホーム大会 (第11回)

平成25年10月28日・前橋市総合福祉会館

基調講演

「地域密着型の役割とイキイキした現場づくり」NPO 法人もんじゅ代表 飯塚裕久 氏

参加した
方々の
感想です

- ・これから先、地域のお年寄りが元気で笑顔で過ごすには、グループホームや小規模多機能が介護分野に於いて重要な位置にある事がよくわかりました。グループホームで働いている事に自信が持てました。
- ・小難しい話の前に、緊張をほぐすべく隣同士ペアになり指相撲をしました。親しみやすい話し方と説得力のある話術、指相撲による会場の一体感も手伝い、集中して講演を聴けて良かったです。
- ・僕らがキラキラと仕事をするために「楽しんでではなく楽しく仕事をしよう」と強調されていました。入居者さんが残りの余生を笑顔で穏やかに過ごせるよう、自分も楽しんで仕事をしようと思いました。



事例発表

「職場での取り組み・リハビリ」「困難事例・ターミナルケア」「個別ケア1」「個別ケア2」と、4会場にわかれ、37事例の発表がありました。

参加した
方々の
感想です

- ・入居者の方のために、良かれと思って支援している事でも、本人にとってはストレスかもしれない、という事があると思いました。もっと「本人の気持ちになって考える」必要性を改めて考える良い機会になりました。
- ・自分のホームにも遠からずの事例ばかりでした。どこの事業者さんも色々な事に取り組まれている事がわかり、励みになりました。
- ・「事実より真実」普段、自分の中の価値観や定規で物事をはかってしまっていることを反省し、もっと柔軟な観察力や洞察力が必要だと感じました。

パネル展示



パネル展示がパワーアップ!

前回好評をいただいたパネル展示ですが、今回は一部屋分のスペースを確保。各事業所のアピールや行事の紹介、様々な工夫の紹介、食事の写真等とともに、入居者さんの楽しそうな笑顔の写真がたくさん見られました。

全国グループホーム団体連合会のフォーラムが開催されました

平成25年11月17日・渋谷シダックスホール

全国からおおよそ200名が参加した、第1回の全国フォーラム。群馬県からは井上会長はじめ20名が参加しました。アンケートや実践報告から始まり、講演は長谷川一夫先生。『認知症ケアの作法』〜認知症ケアはあたたかい絆〜と題したお話しには皆さん

聞き入っていました。シンポジウムでは、全国各地で様々な取り組みをされている先駆者の方々が、認知症の方を地域で支えるための仕組みやグループホームの役割、課題、期待など、熱く討論されていました。

管理者等研修

平成25年12月9〜10日・伊香保 ホテル天坊

- ・講演では「地域包括ケアと地域密着型サービス」と題して、地域ケア総合研究所の所長・竹重俊文さんを講師にお迎えしました。介護保険制度や改革の最新動向と今後の戦略、それまでに地域に向けて何をしていくべきか、介護人材の不足をどう克服していくか等々…貴重なお話しを伺うことが出来ました。
- ・コーディネーターに群馬大学の内田陽子先生をお迎えしたシンポジウムでは「生活を見る看護師の役割」をテーマに、パネリストに桜丘訪問看護ステーションの玉田裕子さん、桜丘ケアプランセンターの岡本さとみさん、会員事業所からは看護師の清水浩美さん、佐藤慎さん、坂井栄美さんら3人が登壇。地域における看護師の役割についてや、ホームとしてどう関わっていけば良いかなどが話し合われました。



会員事業者さんとおしの親睦を深めるために、和やかな雰囲気の中で行われた懇親会。定期総会で好評をいただいた「ヨロコデぶっち」さんをお招きして、会場を盛り上げていただきました。歌あり、ゲームありで賑やかに、楽しい時間を過ごしました。さらに二次会では卓球大会とカラオケで盛り上がりました!



平成26年2月17日〜3月4日・全8日間 高崎市群馬福祉会館

ウェルカム講習会



初日は記録的な大雪…よそのイベントは軒並み中止になる中、開催してみたものの、雪で誰も来られないのでは?と心配していましたが、15名中12名の方が徒歩等で苦労して参加されました。来年度は南部ブロックと東部ブロックで開催予定です。



リーダー研修

平成26年3月6・7日・全2日間
群馬勤労福祉センター

2日間の日程で、リーダー研修を開催しました。

1日目は、部下や仲間たちとの良い関係を築くためのコミュニケーションスキルや、指示の出し方・報告の受け方について学びました。

2日目は、BS法・KJ法を用いた問題解決の方法や、指導・育成力を高めるためのコーチングスキルについての研修でした。

演習を多く採り入れた構成となっており、非常に分かりやすい研修だったと思います。また2日間のグループワークやペアワークを通じ、これから各事業所でリーダーとなる人たちのよいネットワーク作りの場となったと思います。
[研修部・部長 伊藤慎一]

